



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日新商事株式会社

コード番号 7490 URL <http://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 走尾 一隆

TEL 03-3457-6251

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,136	12.4	△81	—	16	△87.9	△30	—
25年3月期第2四半期	32,146	△2.6	34	△56.9	138	△29.2	68	12.4

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 165百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △157百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△4.59	—
25年3月期第2四半期	10.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	25,807	16,386	16,386	63.5	63.5	2,436.14
25年3月期	24,991	16,282	16,282	65.2	65.2	2,420.55

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 16,386百万円 25年3月期 16,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	74,000	8.0	270	70.9	430	15.3	210	58.6	31.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	7,600,000 株	25年3月期	7,600,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	873,439 株	25年3月期	873,392 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,726,603 株	25年3月期2Q	6,726,608 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、金融、経済政策による景気回復の期待感を背景として、製造業を中心に景況感の改善がみられました。一部個人消費の持ち直しなど実体経済にも波及効果があらわれつつあります。一方で、海外経済は米国が緩やかな回復をみせているものの、欧州経済の停滞や新興国の成長鈍化等により、依然として不透明な状況にあります。

石油製品販売業界におきまして、国内石油製品需要は、ガソリンと軽油で前年同期並みの推移となりました。一方で、電力用需要の減退を受けたC重油をはじめとして、他油種の需要は減少し、燃料油全体として販売数量は前年同期を下回りました。国内石油製品価格は、円安の影響を受け、前年よりも高い水準となりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、石油関連事業において燃料油の販売数量が堅調に推移し、石油製品価格が上昇したことなどにより、売上高は36,136,100千円、前年同期比12.4%の増収となりました。しかしながら、第1四半期の市況低迷により燃料油の採算が悪化、併せてSS（サービスステーション）や外食店舗の改廃及び、譲り受けに伴う販管費が増加したことなどにより、営業損失は81,232千円（前年同期は営業利益34,888千円）、経常利益は16,687千円、前年同期比87.9%の減益となりました。四半期純損失につきましては、30,907千円（前年同期は四半期純利益68,738千円）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次の通りであります。

<石油関連事業>

(直営部門)

直営部門につきましては、カーコーティング洗車、車検等のカーメンテ商品拡販に注力いたしました。また、SSの運営継承やセルフ化を進め、顧客満足度等の強化を継続し、燃料油の販売数量が増加したこと等により、売上高は12,636,601千円、前年同期比10.9%の増収となりました。しかしながら、第1四半期の市況低迷により燃料油の採算が悪化し、非常に厳しい収益状況となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、消防法改正に伴う地下貯蔵タンク規制強化の影響などで一部販売店の運営するSSが閉鎖したことにより、燃料油の販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は6,189,954千円、前年同期比2.3%の減収となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、営業活動を強化し、火力発電所向けC重油や軽油の販売数量が増加しました。また、法人需要向け燃料油カード発券実績が好調に推移し、燃料油の販売数量が増加いたしました。その結果、売上高は13,216,071千円、前年同期比23.9%の増収となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、石油化学製品は、原料樹脂の需要が伸び悩み弱含む中、一部大口顧客向けの納入が増加し、また、農業資材の販売が本格化したことにより、売上高が増加いたしました。また、ペットボトル飲料は、夏季需要は伸び悩みましたが、期首のコンビニエンスストア向け製品の出荷により、売上高は増加いたしました。その結果、売上高は2,239,365千円、前年同期比6.5%の増収となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガス販売は、製品価格の上昇により販売競争が激化し、販売数量が減少いたしました。一方で、太陽光発電設備の機器販売が伸びたことにより、売上高は1,110,731千円、前年同期比27.1%の増収となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、キャンペーン商品により一部需要を取り込めたものの、競合環境が激化し、全体的に厳しい状況で推移いたしました。また、新たに1店舗を譲り受け、運営の効率化を図るため1店舗を閉鎖いたしました。タリーズコーヒー店は、今後収益改善見込のない1店舗を閉鎖いたしました。既存店においては前年同期並みの売上高となりました。その結果、売上高は480,049千円、前年同期比4.9%の減収となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、新たに賃貸マンションを1棟取得いたしました。しかしながら、バイフロント横浜及び一部店舗の賃料改定等により、売上高は263,326千円、前年同期比2.9%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、816,420千円増加し、25,807,771千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が601,401千円減少したものの、有形固定資産が694,700千円、投資有価証券及び関係会社株式が289,973千円、商品及び製品が285,879千円、現金及び預金が136,121千円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、711,639千円増加し、9,420,918千円となりました。これは、未払金が129,956千円減少したものの、借入金305,000千円、支払手形及び買掛金が292,925千円、社債が223,000千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、104,780千円増加し、16,386,852千円となりました。これは、利益剰余金が91,446千円減少したものの、その他の包括利益累計額が196,266千円増加したことによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ15.59円増加し、2,436.14円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は投資活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が増加したために前連結会計年度末に比べ118,354千円増加し、1,266,716千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、550,874千円の資金の増加となりました。増加の主なものは、売上債権の減少額577,657千円、仕入債務の増加額292,925千円であります。減少の主なものは、たな卸資産の増加額285,879千円、未払軽油引取税の減少額97,110千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、908,122千円の資金の減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出818,512千円、事業譲受による支出48,576千円、無形固定資産の取得による支出9,046千円などにより資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、462,108千円の資金の増加となりました。増加の主なものは、社債の発行による収入400,000千円、長期借入れによる収入300,000千円であります。減少の主なものは、社債の償還による支出177,000千円、配当金の支払額60,539千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、経済情勢や石油製品価格の動向が不透明なこともあり、現段階では、平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更いたしません。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,832	1,299,953
受取手形及び売掛金	9,859,632	9,258,230
商品及び製品	601,692	887,571
その他	269,306	283,033
貸倒引当金	△8,740	△7,872
流動資産合計	11,885,723	11,720,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,790,575	2,955,800
土地	5,384,137	5,549,141
その他(純額)	302,255	666,727
有形固定資産合計	8,476,968	9,171,669
無形固定資産		
投資その他の資産	250,986	255,581
投資有価証券	2,843,837	3,145,390
関係会社株式	960,616	949,037
その他	637,467	638,725
貸倒引当金	△64,249	△73,549
投資その他の資産合計	4,377,672	4,659,603
固定資産合計	13,105,627	14,086,854
資産合計	24,991,350	25,807,771
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,088,822	4,381,747
短期借入金	605,000	625,000
未払金	596,121	466,165
未払法人税等	57,088	36,547
賞与引当金	198,422	198,130
役員賞与引当金	6,500	3,300
資産除去債務	12,509	5,539
その他	503,828	350,845
流動負債合計	6,068,293	6,067,276
固定負債		
社債	680,000	1,040,000
長期借入金	297,500	582,500
退職給付引当金	916,255	921,204
役員退職慰労引当金	36,403	36,403
資産除去債務	66,613	71,889
その他	644,213	701,644
固定負債合計	2,640,985	3,353,642
負債合計	8,709,278	9,420,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,377,041	9,285,594
自己株式	△643,357	△643,397
株主資本合計	15,639,308	15,547,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,479	831,252
為替換算調整勘定	△5,716	7,777
その他の包括利益累計額合計	642,763	839,029
純資産合計	16,282,072	16,386,852
負債純資産合計	24,991,350	25,807,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	32,146,636	36,136,100
売上原価	29,043,440	33,078,670
売上総利益	3,103,196	3,057,429
販売費及び一般管理費	3,068,307	3,138,662
営業利益又は営業損失(△)	34,888	△81,232
営業外収益		
受取利息	1,709	1,435
受取配当金	45,889	58,828
持分法による投資利益	4,162	6,027
その他	79,988	56,299
営業外収益合計	131,749	122,591
営業外費用		
支払利息	14,200	13,007
社債発行費	5,826	5,312
その他	8,361	6,351
営業外費用合計	28,388	24,671
経常利益	138,249	16,687
特別利益		
固定資産売却益	—	2,038
損害賠償金	16,201	—
特別利益合計	16,201	2,038
特別損失		
減損損失	28,989	31,599
その他	1,749	7,400
特別損失合計	30,739	38,999
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	123,711	△20,273
法人税、住民税及び事業税	37,898	29,139
法人税等調整額	17,074	△18,506
法人税等合計	54,972	10,633
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	68,738	△30,907
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,738	△30,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	68,738	△30,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224,154	181,385
為替換算調整勘定	△144	13,493
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,669	1,387
その他の包括利益合計	△225,968	196,266
四半期包括利益	△157,230	165,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157,230	165,359
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	123,711	△20,273
減価償却費	172,811	153,856
減損損失	28,989	31,599
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,812	△292
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,014	4,948
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,471	8,432
受取利息及び受取配当金	△47,598	△60,264
支払利息	14,200	13,007
持分法による投資損益(△は益)	△4,162	△6,027
損害賠償金	△16,201	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	44,904	33,473
預り保証金の増減額(△は減少)	△86,752	△36,650
売上債権の増減額(△は増加)	1,522,621	577,657
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,750	△285,879
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,346,896	292,925
未払軽油引取税の増減額(△は減少)	△48,961	△97,110
その他	△14,482	△54,245
小計	305,635	555,159
利息及び配当金の受取額	49,628	61,057
利息の支払額	△13,166	△16,134
法人税等の支払額	△192,445	△49,207
損害賠償金の受取額	9,276	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,928	550,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△195,711	△818,512
有形固定資産の除却による支出	△10,214	△7,400
無形固定資産の取得による支出	△2,849	△9,046
投資有価証券の取得による支出	△46,585	△1,629
貸付けによる支出	△3,910	△2,481
貸付金の回収による収入	8,625	3,294
資産除去債務の履行による支出	—	△10,890
事業譲受による支出	—	△48,576
その他	△33,744	△12,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,389	△908,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	150,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△55,000	△45,000
社債の発行による収入	300,000	400,000
社債の償還による支出	△397,000	△177,000
配当金の支払額	△60,539	△60,539
その他	△5,826	△5,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,366	462,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144	13,493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,972	118,354
現金及び現金同等物の期首残高	1,360,273	1,148,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,216,300	1,266,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,370,723	504,824	271,088	32,146,636	—	32,146,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	27,374	27,374	△27,374	—
計	31,370,723	504,824	298,463	32,174,011	△27,374	32,146,636
セグメント利益又は損失(△)	112,052	△26,813	170,088	255,326	△220,437	34,888

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△220,437千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで16,171千円、「外食事業」セグメントで12,817千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,392,723	480,049	263,326	36,136,100	—	36,136,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	30,232	30,232	△30,232	—
計	35,392,723	480,049	293,559	36,166,332	△30,232	36,136,100
セグメント利益又は損失(△)	8,222	△35,806	166,385	138,801	△220,033	△81,232

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△220,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで11,605千円、「外食事業」セグメントで19,994千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。

（のれんの金額の重要な変更）

「外食事業」セグメントにおいて、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社が運営しておりました横須賀地区のケンタッキーフライドチキン店1店舗の事業を譲り受けることになり、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において29,062千円であります。